



「伊都ゲストハウス」が 平成24年度木材利用優良施設として「林野庁長官賞」を受賞

平成24年4月に本学伊都キャンパスにオープンした「伊都ゲストハウス（木造3階建て 延べ床面積2,110㎡）」が、福岡県農林水産部及び福岡県木材利用推進協議会の推薦を得て、平成24年度木材利用優良施設の表彰式（木材利用推進中央協議会主催、農林水産省後援）において「林野庁長官賞」を受賞しました。

伊都ゲストハウスは、燃えしろ設計^(※1)や小径木材つなぎ合わせ利用^(※2)等に工夫が施されるなど、公共建築物の木材利用事例として高く評価されたものです。

平成24年7月30日に木材会館（東京都江東区新木場）で行われた表彰式において、今泉 勝己 九州大学理事が、皆川 芳嗣 林野庁長官から表彰状を授与されました。

木材利用優良施設の表彰は、木材の利用推進等に寄与すると認められた優良な施設に対して毎年度実施されているものです。平成24年度の応募総数は全国から121施設で、厳正な審査の結果、農林水産大臣賞1点、林野庁長官賞3点、木材利用推進中央協議会会長賞5点が選定されました。



皆川林野庁長官（写真右）から表彰状を授与される今泉九州大学理事（写真中央）



伊都ゲストハウス外観



伊都ゲストハウス 中庭の様子



伊都ゲストハウス 多目的ホール内観

【施設概要】

施設名称： 伊都ゲストハウス
所在地： 福岡市西区大字元岡744番地（九州大学伊都キャンパス構内）
構造階数： 木造3階建て（主要樹種 スギ（主に福岡県産材））
面積： 建築面積 859㎡ 延べ面積 2,110㎡
諸室： 住戸33戸（単身者用27戸、夫婦用4戸、家族用2戸）
多目的ホール 会議室 和室
基本設計： 国立大学法人九州大学 施設部
実施設計： (株)徳岡設計
施工： （建築）松井建設(株) （電気）西部電業(株) （機械）山和(株)

特徴：

- 主に外国人研究者を対象とした職員宿舎として「和の雰囲気」が感じられる施設をコンセプトに整備。
- 比較的容易に調達できる15cm程度の製材を拡張樹脂アンカー工法により繋ぎ合わせ、大断面の柱、梁にすることで、強固な大規模木造建築を実現し、金物を表面から無くして木目の美しさを最大限に引き出している。
- 多目的ホールは、大断面の柱や格子梁、木製家具により木の魅力、和の雰囲気を最大限に引き出した空間を構成し、住戸においては、全室の床、腰壁等に木質素材を積極的に採用。

【用語解説】

※1 燃えしろ設計：

燃えしろ（火災時に炭化してしまう厚み部分）を除いた有効断面を用いて構造計算を行い、表面部分が燃えても構造耐力上支障のないことを確かめる設計方法です。通常より木柱等のサイズが大きくなります。従来は、使用する木材が集成材（多数の角材を接着剤で接合して作った木材）等に限定されていましたが、現在では製材（伐採した木を角材に加工したもの）でも可能となり、無垢の木材素材の良さをそのまま表現した準耐火建築物等を建築することができます。

※2 小径木材つなぎ合わせ利用：

大規模木造建築物の骨組み部分を木材で設計する場合、通常は断面サイズが大きくなり、製材の流通の状況によってはコストと工期に大きく影響します。この問題を解決するために、比較的流通状況が良い小径木材（15cm角程度）数本を、金属ボルトと接着樹脂を使ってつなぎ合わせていく工法を採用し、構造耐力と意匠の上でも一本の大断面の製材と同等の性能を確保しています。

【お問い合わせ】

施設部施設企画課企画係

電話：092-642-2216

FAX：092-642-2207

Mail：sskkeika@jimu.kyushu-u.ac.jp